



「ロータリー財団委員会」活動報告

林 弘己

1. 第2700地区組織図

毎年「月信7-1号」に第2700地区組織図が掲載されていますので、福岡南RCから誰がどの組織に出向されているのかご確認下さい。私が現在出向しているのは「ロータリー財団委員会」です。7月に貫さんがガバナーエレクトになられると、私は地区の資金を管理する「地区資金委員会」にも所属する予定になっています。

また、来年7月にいよいよ貫さんがガバナーになられますと、福岡南RCからは、永倉さんが「地区幹事」にそして私が「地区会計長」に就任させていただくことになっています。

ガバナーを選出する当クラブとしては、ガバナーをサポートするために「総務」「会議」「月信」「公式訪問」「地区大会」の委員会を設け、その準備をしていますのでみなさんご協力をよろしくお願いいたします。

2. ロータリー財団委員会のメンバー

ロータリー財団委員会は、2週間前に卓話にお越しいただいた岩崎委員長及び井手カウンセラーのもと19名のメンバーで活動しています。地区補助金申請の内容を精査して審査することが主な内容ですから、7つのグループから満遍なく人が集まっています。第4グループには4名いますが、経験豊かな宗像RCの中村さんを除いて、太宰府RCの川添さん、福岡平成RCの諫山さん、そして私の3名は新人なのでまだ何の役にも立っていないのが現状です。

3. ロータリー財団委員会の活動状況

例会は毎月第2木曜日に天神の総合メディカル様の会議室で行っています。ロータリー財団が支給する「地区補助金」の審査が主な活動内容です。

「地区補助金」は事前申請制度となっていて、その申請が承認されますと補助金の振込みが行われ、その後にその事業を行わなければならないことになっています。従って、1つのプロジェクトに際して、計画立案から最終報告書の作成までは約2年も要することになります。

具体的スケジュールは以下のとおりです。①各クラブで申請前年の9月～10月くらいまでに実施するプロジェクトの検討する ②1月中旬に2700地区が主催する「資金管理セミナー」に参加して「地区補助金」申請手続きの説明を受ける ③申請期限は4月 ④申請内容を財団委員会で精査した後、8月に承認がなされる ⑤9月にRIから2700地区に総額約1000万円の「地区補助金」が振り込まれ各RCに配分する ⑥プロジェクトは各RCに「地区補助金」が振り込まれた後から実施可能 ⑦9月から翌年5月までに事業を完了する ⑧事業完了後6月までに最終報告書を財団委員会に提出する

4. 2019-2020年度「地区補助金」申請一覧

今年度の事業として昨年4月に2700地区全体で27クラブから申請がありました。平均すると5年間の間に各クラブが大体2回くらいの事業を実施していることになります。我が福岡南RCは過去5年間の間に1件も「地区補助金」の申請のない15クラブの1つとしてリストに掲載されていますので、この先貫さんがガバナーになられるのに際し、是非プロジェクトの立案を企画していただきたいと思います。



(1) 第1グループ (6)

豊前 \$7,525 (豊前子供神楽)、豊前西 \$3,333 (中津街道景観保全)、苅田 \$9,259 (防犯カメラ設置)、田川 \$1,852 (舞台芸能鑑賞)、行橋 \$2,710 (蛍の放流)、行橋京都 \$3,877 (障がい者就労支援)

(2) 第2グループ (4)

小倉 \$3,074 (かるた大会)、小倉中央 \$6,019 (児童養護施設支援)、門司西 \$6,615 (桜の植樹)、若松 \$3,519 (こども食堂支援)

(3) 第3グループ (1)

八幡 \$2,778 (伝統文化のふれあい)

(4) 第4グループ (5)

太宰府 \$3,704 (こども食堂支援)、福岡平成 \$3,662 (障がい者団体支援)、福岡東 \$7,407 (観劇会開催)、宗像 \$3,093 (海岸ゴミ清掃)、博多イブニング \$4,815 (貧困家庭支援)

(5) 第5グループ (6)

福岡中央 \$5,029 (美術教育支援)、福岡城西 \$7,407 (こども村支援)、福岡城東 \$4,907 (カンボジア支援)、福岡北 \$3,241 (芸術文化振興)、博多 \$2,778 (博多伝統工芸支援)、糸島 \$3,241 (海岸ゴミ清掃)

(6) 第6グループ (3)

甘木 \$6,481 (母子健康支援)、久留米中央 \$1,852 (薬物乱用防止教育)、鳥栖 \$1,481 (地域の子ども支援)

(7) 第7グループ (2)

筑後 \$1,880 (桜の植樹)、柳川 \$8,739 (特別支援学校)

5. 福岡南RCの過去の「地区補助金」申請状況

過去の当クラブの「地区補助金」の申請状況を調べましたら、1度だけ実施されていました。

- ・2015年福岡南ロータリーカップ小学生バレーボール大会
- ・総事業費 895,828円 (内補助金 449,160円)
- ・2014年4月 地区補助金申請(井上会長) → 2014年9月 地区補助金入金
- ・2015年1月 大会開催(川原会長) → 2015年4月 最終報告書提出

6. 2021-2022年度「地区補助金」支給基準

2021-2022年度の申請は本年4月末が期限ですが、まだプロジェクトの計画が何もできていない現状からしますと、貫さんがガバナーになられる2021-2022年度の申請に向けて今からどのような事業を行うのか検討をはじめるのがよろしいかと思えます。

来年4月の「地区補助金」申請時の会長は牟田先生、幹事が井浦さんです。プロジェクトの実施時は服部先生が会長で、河野さん幹事に就任される予定と伺っています。また、現在の委員会では、財団への寄付金の声掛けをするのがロータリー財団委員会(村上委員長)、「地区補助金」を活用してプロジェクトを実施するのが社会奉仕委員会(渋谷委員長)や青少年奉仕委員会(御厨委員長)にあたるかと思えます。まずは、会長・幹事を中心としてプロジェクトを企画していただきたいと思えます。それから、「地区補助金」の支給額ですが、一定の計算式がありますが、現在当クラブの1人あたりの寄付金額が\$42という状況では、約23万円しか支給を受けることができません。本年6月まで



に仮に1人あたり\$180(クラブとしての総額は約200万円)の寄付を行えば、来年4月の申請時には総額150万円のプロジェクトを企画して、財団から100万円の「地区補助金」の支給を受けることができます。200万円の寄付を行っても半分の100万円が2年後に戻ってくるわけですから、会員の皆さんへの寄付金の協力要請はもとより、ニコニコ箱のからの拠出も含めてクラブとしてどうするか是非検討していただきたいと思います。

我がクラブは伝統的に、米山奨学金には富永さんや井浦さんを始めとして高額の寄付をしていただいている方は多いのですが、ロータリー財団に関しては、安部先生、川原さん、富永さんそれに退会された川口さんの4名が寄付をされているにすぎません。ロータリー財団の寄付も税法上の寄付金控除が受けれますので、これからは財団にも目を向けていただければ幸いです。

因みに、2018-2019年度の我がクラブの寄付金1人あたり\$42(総額約46万円)という数字は、2700地区全61クラブのうち下から8番目という寂しい状況です。現在、会員からは年会費にあわせて年間300円、新入会員の方からは6000円をいただいています。他のクラブに確認しましたところ大体5000円から8000円を徴収してようですので、次年度からこの点もどうするのか検討していただきたいと思います。

7. 渋田社会奉仕委員長からのメッセージ

先日、林さんとともに2700地区主催の「資金管理セミナー」に参加して来ました。このセミナーでは「地区補助金」申請手続きの話が主な内容でしたが、その前に当クラブのロータリー財団への寄付金額が著しく低いということを知りました。

貫会長が、これから福岡南RCを代表してガバナーエレクト、ガバナーになられるにあたり、出身母体である当クラブの数字が1人あたり\$42という金額では、貫さんに恥をかかせてしまうということになるので、今後は率先してロータリー財団への寄付、また活動にも協力していかなければならないと感じた次第です。

